

経営比較分析表（平成30年度決算）

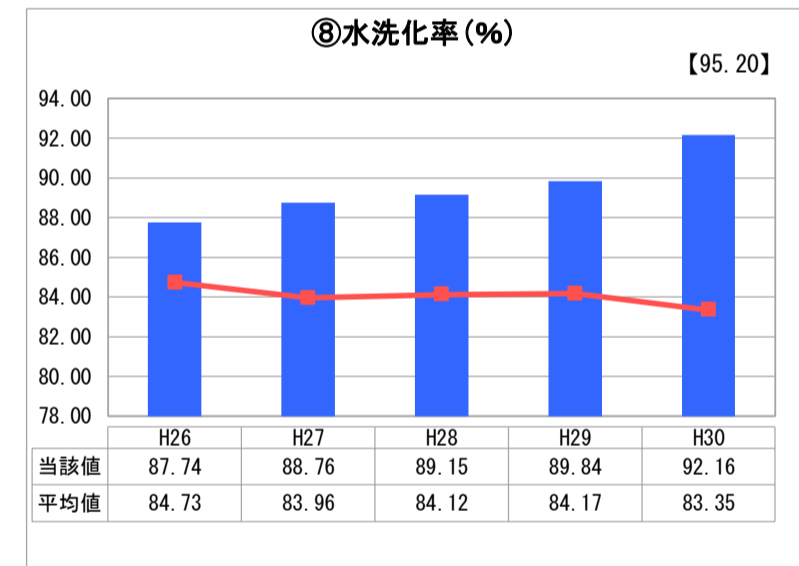
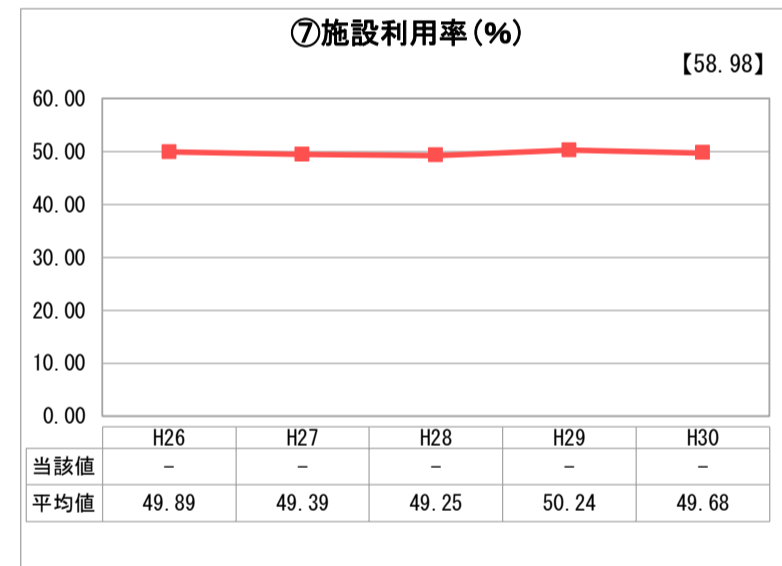
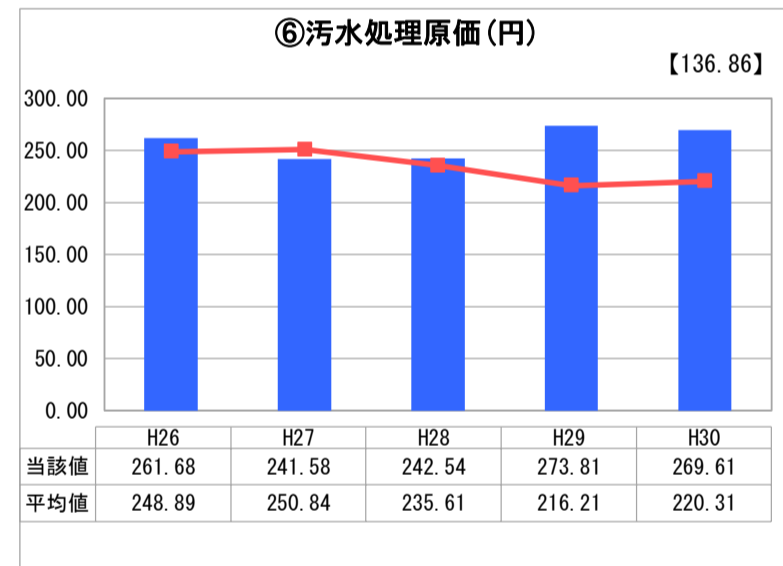
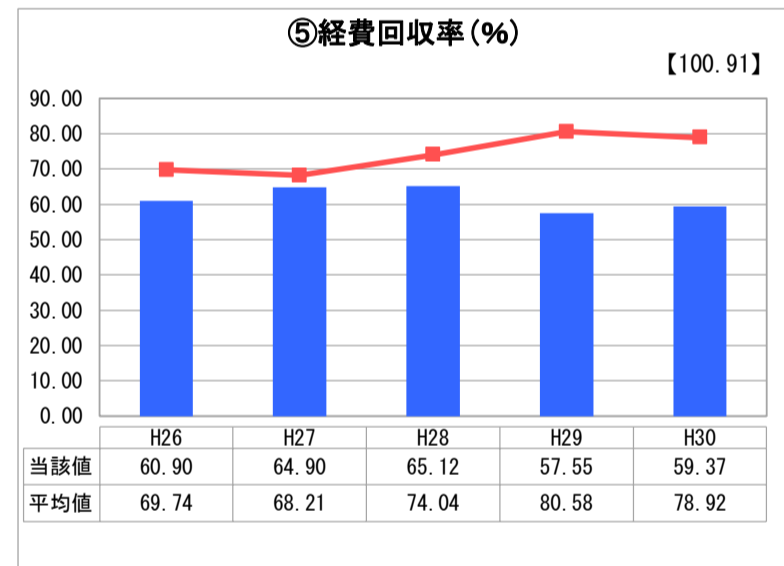
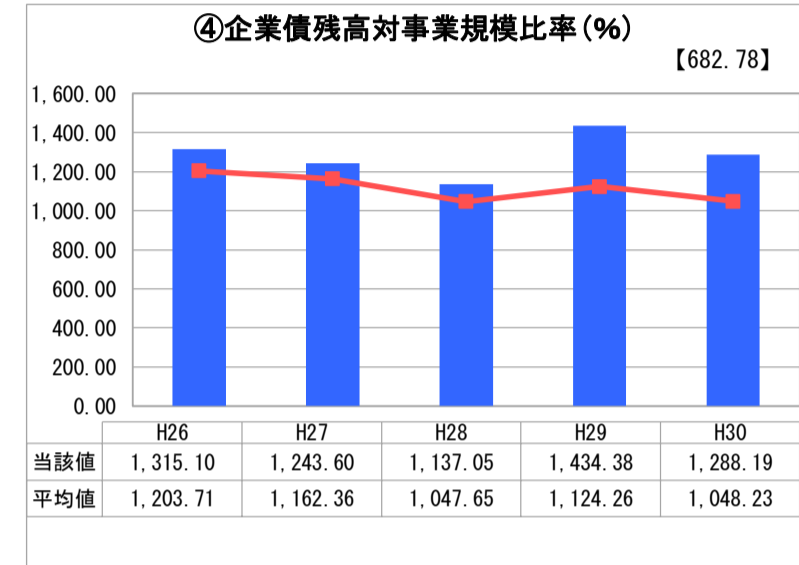
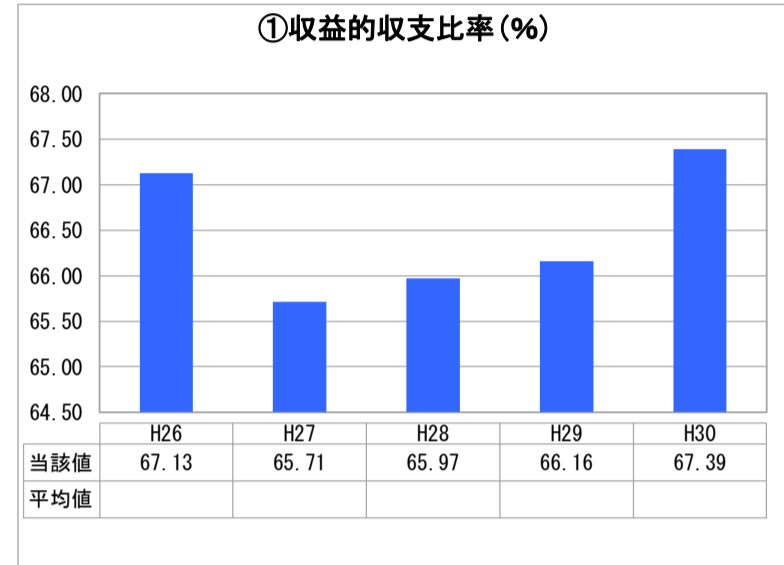
兵庫県 宍粟市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	22.50	75.62	2,698

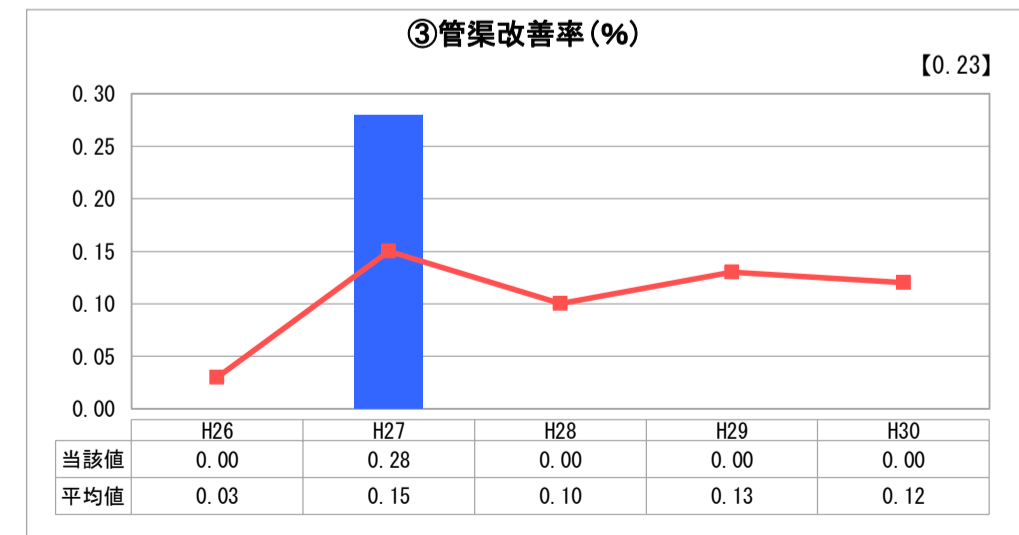
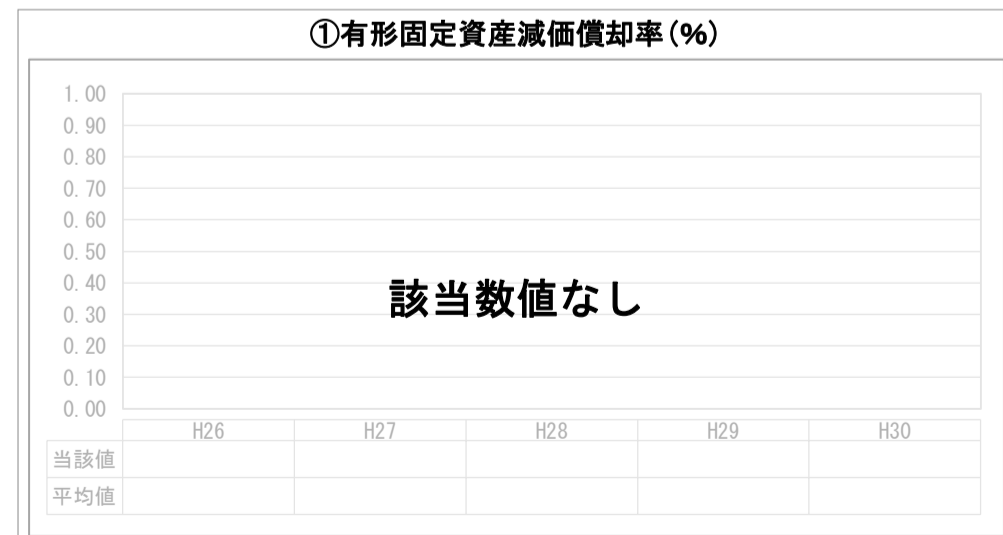
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
38,013	658.54	57.72
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,485	3.92	2,164.54

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・収益的収支比率については、企業債償還金が増加したが、支払い利息の減少等により前年度比1.23ポイント増となった。

・経費回収率は、使用料収入に比べて、汚水処理費用が大きいため、類似団体の平均値と比べて低い状況となっている。

収入の不足分については、他会計からの繰入金で賄っている状況であり、適切な使用料体系、運営体制のあり方や今後の投資のあり方を見直し、健全経営につなげる必要がある。

・企業債残高対事業規模比率については、類似団体の平均値と比べて高い傾向となっている。これは、資金不足に対する資金調達として資本平準化債を発行していることから企業債残高が多くなっていると考える。

・汚水処理原価については、類似団体の平均値より高くなっており、今後も汚水の維持管理費の縮減に努める必要がある。

・水洗化率はここ数年微増傾向となっているが、使用料収入を向上させるため、より一層、水洗化へのPRが必要である。

2. 老朽化の状況について

・供用開始後15年以上が経過し、マンホールポンプ等の施設の老朽化が進んでいるため、修繕料が年々増加傾向にある。

・流域下水道についても施設の老朽化に伴い、更新及び修繕費の増加に係る費用が負担金として発生している状況である。

全体総括

経費回収率は、類似団体の平均値と比べて低く、他会計からの繰入金への依存を抑制するため、健全な経営化に向けて、経営体制のあり方や施設の統廃合を含めた今後の投資のあり方、適切な使用料体系、汚水処理費の削減、水洗化率の向上等の見直しが必要である。また、令和2年度から地方公営企業法の財務規定適用により、財務状況及び経営状況の透明化・明確化を図り、計画的で合理的な事業運営を図る必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。